

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(60歳代男性)あり、症状は発熱、肺炎です。感染地、感染経路はいずれも不明です。本年の累積報告数は8例となりました。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(90歳代男性及び80歳代女性)ありました。いずれも感染地域は国内です。本年の累積報告数は49例となりました。

京都市では、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。

○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(健康安全課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

- ・ 梅毒の報告が1例(20歳代女性)あり、症状はありません。感染地域、感染経路は不明です。本年の累積報告数は31例となりました。

京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を匿名で実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

- ・ 百日咳の報告が2例(10歳未満男性及び10歳代男性各1例)(第23週追加報告分含む)あり、いずれも感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は43例となりました。

◆ 今週のトピックス: <手足口病>

京都市における手足口病の定点当たり報告数は7.21(310例)で警報レベルである「5」を超え、本市では6月20日に手足口病発生警報を発令しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 11例(肺結核 5例, その他結核 4例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 141例(肺結核 59例, その他結核 36例, 潜在性結核感染者 46例)うち喀痰塗抹陽性 28例】
- ・ 四類:レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 8例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 49例】
- ・ 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 31例】
- ・ 五類:百日咳 2例【1月以降の累積報告数 43例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 25	17
小児科 (降順5位まで)	① 手足口病	7. 21	310
	② 感染性胃腸炎	5. 35	230
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 53	66
	④ 伝染性紅斑	1. 26	54
	⑤ ヘルパンギーナ	0. 98	42
眼科	流行性角結膜炎	0. 30	3

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <手足口病>

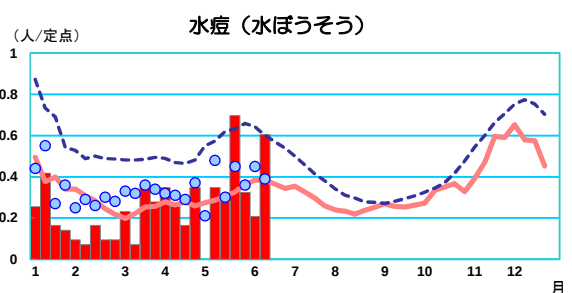
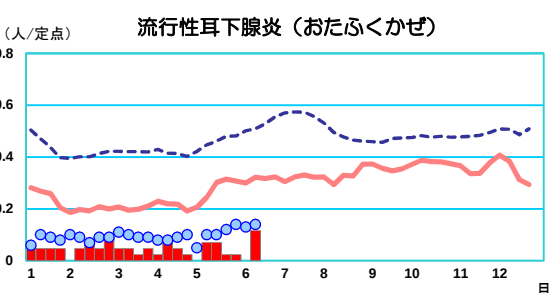
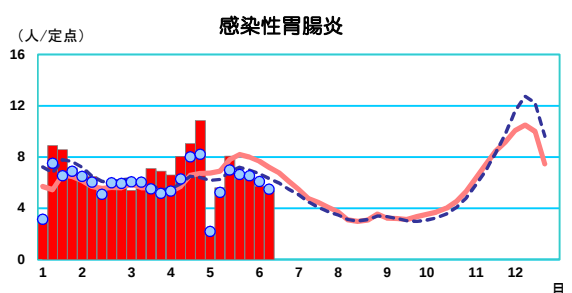
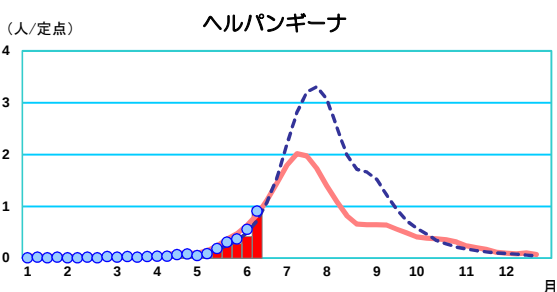
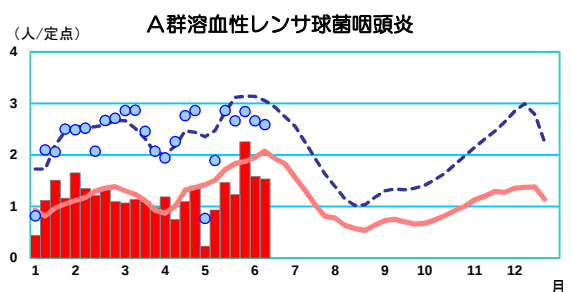
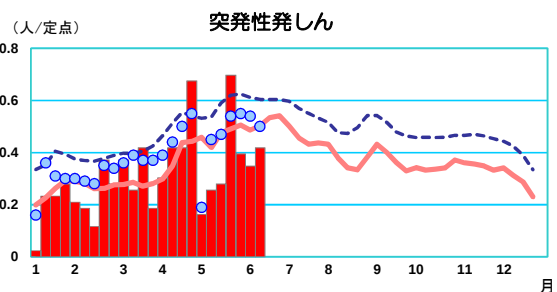
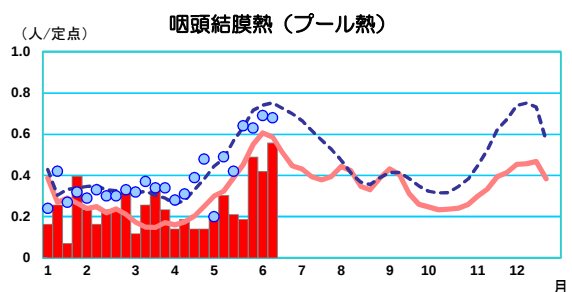
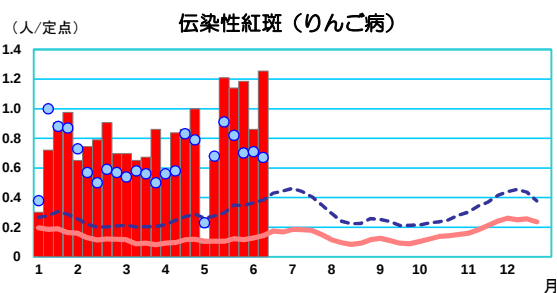
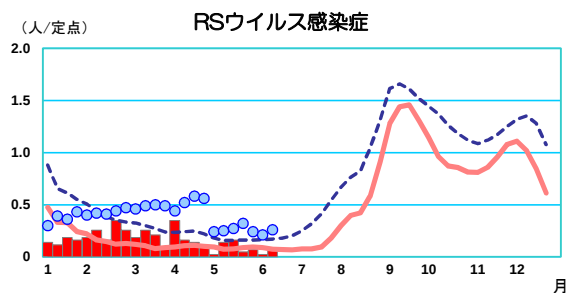
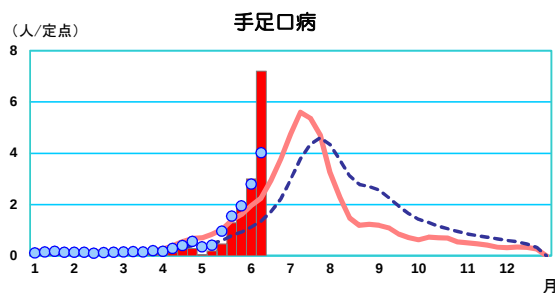
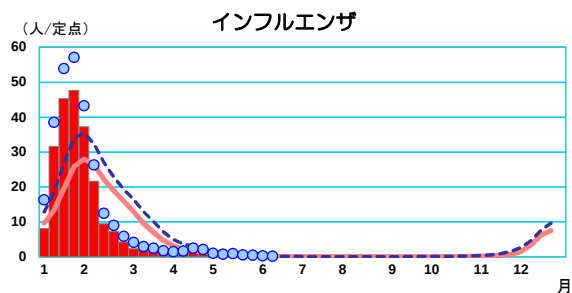
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年6月19日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第24週(6月10日～6月16日)トピックス:＜手足口病＞

京都市及び全国の発生動向

京都市における手足口病の定点当たり報告数は7.21(310例)で警報レベルである「5」を超え(図1)、本市では6月20日に手足口病発生警報を発令しました(下記参照)。都道府県別の報告数を見ると、西日本に多く、とりわけ九州(沖縄県を除く。)では全ての県で警報開始基準値を超えています(図2)。近畿でも滋賀県と和歌山県を除く2府2県が警報開始基準値を超えています。

京都市の過去5年間の年齢階級別割合の推移を見ると、就学前の6歳未満の割合が9割前後です。中でも1歳代の報告が最も多く、全体の2～4割を占めています。しかしながら、本年第24週までの京都市における報告では、例年と異なり、1歳未満の乳児の割合が約4割となっています(図3)。

症状等

手足口病はウイルスを原因とする感染症で、主な症状は口の中や手のひら、足底等における米粒大の水疱状の発疹です。手足の水疱に痛みやかゆみはなく、破れることはありませんが、口の中の水疱は破れてただれ、強い痛みを伴うことがあります。口の中の痛みが激しいときは食欲が落ちたり、水分が摂りにくくなります。脱水症状をおこさないように、こまめに水分補給を心掛けましょう。一般的に、治療は症状に合わせた対症療法となり、基本的に予後は良好です。

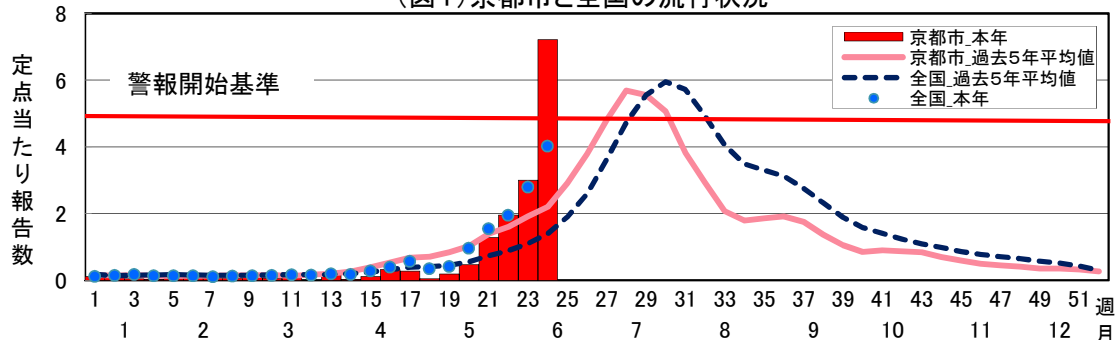
感染経路と予防方法

主な感染経路は飛沫、接触及び糞口感染です。予防で効果的なのは手洗いです。しかしながら、3歳に満たない乳幼児は、一人での手洗いが難しいので、手や口の周囲をこまめに拭いてきれいにしてあげましょう。周囲の大人が適切に手洗いをし、特に排泄物処理後は念入りに手洗いをし、感染予防に努めましょう。

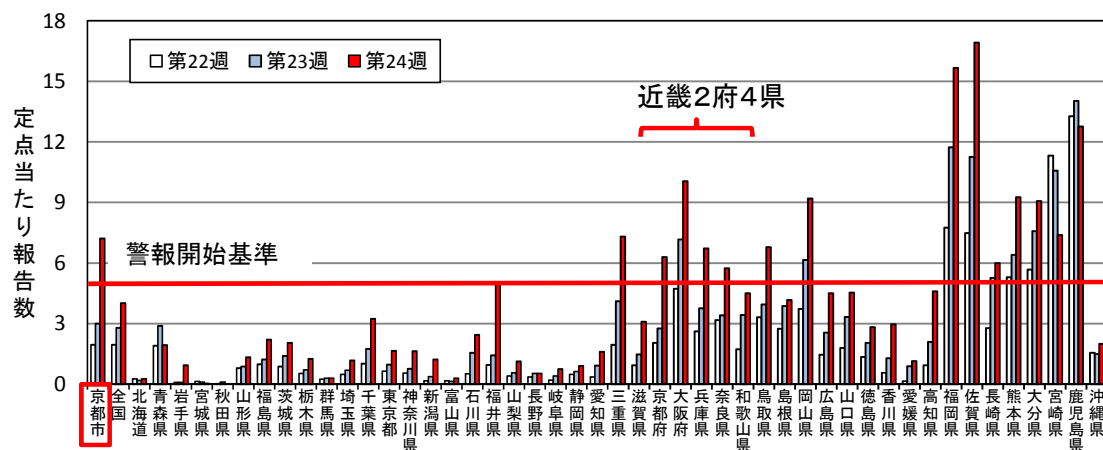
〇【広報資料】京都市域において手足口病流行発生警報を発令しました！(令和元年6月20日)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000253855.html>

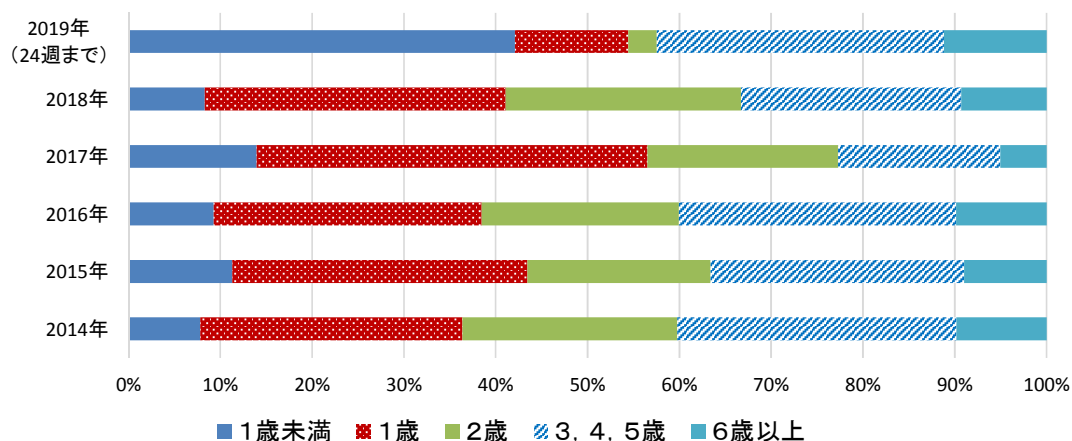
(図1)京都市と全国の流行状況



(図2)都道府県別当たり報告数の推移



(図3)京都市の過去5年間年齢別報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第24週

疾病,行政区別報告数

2019年6月10日～2019年6月16日

データ入手日:2019年6月19日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	-	-	2	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	8	14	1	11	3	-	1	-	-	1					
左京	-	-	4	4	48	2	41	14	3	3	-	-	-					
中京	1	-	2	1	11	1	19	1	1	2	4	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	1	-	2	15	-	3	-	-	4	-							
山科	7	1	4	4	5	-	27	-	1	4	-	-	1					
下京	-	-	-	-	1	-	4	-	-	2	-							
南	3	-	1	3	12	1	15	5	3	3	1							
右京	-	-	5	24	28	7	42	7	1	4	-	-	1					
伏見	1	1	3	14	72	13	122	19	7	10	-	-	-					
西京	5	-	3	6	21	1	22	5	2	9	-	-	-					
京都市計	17	3	24	66	230	26	310	54	18	42	5	-	3	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	-	-	0.50	-	0.75	-	1.00	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	2.67	4.67	0.33	3.67	1.00	-	0.33	-	-	1.00					
左京	-	-	1.00	1.00	12.00	0.50	10.25	3.50	0.75	0.75	-	-	-					
中京	0.20	-	0.67	0.33	3.67	0.33	6.33	0.33	0.33	0.67	1.33	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	0.50	-	1.00	7.50	-	1.50	-	-	2.00	-							
山科	1.00	0.20	0.80	0.80	1.00	-	5.40	-	0.20	0.80	-	-	1.00					
下京	-	-	-	-	0.50	-	2.00	-	-	1.00	-							
南	0.60	-	0.33	1.00	4.00	0.33	5.00	1.67	1.00	1.00	0.33							
右京	-	-	1.00	4.80	5.60	1.40	8.40	1.40	0.20	0.80	-	-	1.00					
伏見	0.09	0.14	0.43	2.00	10.29	1.86	17.43	2.71	1.00	1.43	-	-	-					
西京	0.63	-	0.60	1.20	4.20	0.20	4.40	1.00	0.40	1.80	-	-	-					
京都市計	0.25	0.07	0.56	1.53	5.35	0.60	7.21	1.26	0.42	0.98	0.12	-	0.30	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第24週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年6月10日～2019年6月16日

データ入手日:2019年6月19日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	17	-	-	1	-	1	1	3	1	1	1	1	3	-	-	-	2	-	-	-	2
RSウイルス感染症	年齢3	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱		24	-	5	7	3	5	2	1	-	-	-	-	-	-	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		66	-	1	5	4	5	4	8	13	6	7	2	7	-	4						
感染性胃腸炎		230	4	17	30	21	27	14	21	12	13	6	6	33	3	23						
水痘		26	1	1	2	1	5	4	6	3	1	-	1	1	-	-						
手足口病		310	-	47	144	69	26	11	2	1	5	1	-	1	-	3						
伝染性紅斑		54	-	-	-	6	5	10	7	8	7	3	2	5	1	-						
突発性発しん		18	1	7	8	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		42	-	6	16	11	4	3	-	1	-	1	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		5	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.25	-	-	0.01	-	0.01	0.01	0.04	0.01	0.01	0.01	0.01	0.04	-	-	-	0.03	-	-	-	0.03
RSウイルス感染症	年齢3	0.07	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱		0.56	-	0.12	0.16	0.07	0.12	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.53	-	0.02	0.12	0.09	0.12	0.09	0.19	0.30	0.14	0.16	0.05	0.16	-	0.09						
感染性胃腸炎		5.35	0.09	0.40	0.70	0.49	0.63	0.33	0.49	0.28	0.30	0.14	0.14	0.77	0.07	0.53						
水痘		0.60	0.02	0.02	0.05	0.02	0.12	0.09	0.14	0.07	0.02	-	0.02	0.02	-	-						
手足口病		7.21	-	1.09	3.35	1.60	0.60	0.26	0.05	0.02	0.12	0.02	-	0.02	-	0.07						
伝染性紅斑		1.26	-	-	-	0.14	0.12	0.23	0.16	0.19	0.16	0.07	0.05	0.12	0.02	-						
突発性発しん		0.42	0.02	0.16	0.19	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.98	-	0.14	0.37	0.26	0.09	0.07	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		0.12	-	-	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-	-	
流行性角結膜炎		0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第24週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年6月19日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	65	90	48	89	71	17
RSウイルス感染症	6	7	2	3	1	3
咽頭結膜熱	13	9	8	21	18	24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40	63	53	97	68	66
感染性胃腸炎	241	347	271	276	246	230
水痘	15	12	30	14	9	26
手足口病	8	20	55	84	129	310
伝染性紅斑	28	52	49	51	37	54
突発性発しん	11	12	30	17	15	18
ヘルパンギーナ	3	8	11	12	18	42
流行性耳下腺炎	3	3	1	1	-	5
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	2	2	5	2	3
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	1	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	435	625	560	670	615	798

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.94	1.30	0.70	1.29	1.03	0.25
RSウイルス感染症	0.14	0.16	0.05	0.07	0.02	0.07
咽頭結膜熱	0.30	0.21	0.19	0.49	0.42	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.93	1.47	1.23	2.26	1.58	1.53
感染性胃腸炎	5.60	8.07	6.30	6.42	5.72	5.35
水痘	0.35	0.28	0.70	0.33	0.21	0.60
手足口病	0.19	0.47	1.28	1.95	3.00	7.21
伝染性紅斑	0.65	1.21	1.14	1.19	0.86	1.26
突発性発しん	0.26	0.28	0.70	0.40	0.35	0.42
ヘルパンギーナ	0.07	0.19	0.26	0.28	0.42	0.98
流行性耳下腺炎	0.07	0.07	0.02	0.02	-	0.12
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.20	0.20	0.50	0.20	0.30
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	1.00	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	9.70	13.90	12.76	15.19	14.81	18.64

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。